



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 理想科学工業株式会社
 コード番号 6413 URL <http://www.riso.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽山 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 池嶋 昭一
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 03-5441-6611

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	40,128	4.0	1,387	14.7	1,585	7.9	1,221	8.6
29年3月期第2四半期	38,590	5.4	1,625	40.6	1,721	36.2	1,125	39.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,686百万円 (%) 29年3月期第2四半期 389百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	32.88	
29年3月期第2四半期	29.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	89,268	62,556	70.1
29年3月期	87,988	64,013	72.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 62,556百万円 29年3月期 64,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		60.00	60.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	0.6	4,400	10.2	4,400	6.6	3,000	10.1	80.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	47,406,332 株	29年3月期	47,406,332 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	10,427,045 株	29年3月期	10,018,145 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	37,150,991 株	29年3月期2Q	38,570,734 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は平成29年11月7日(火)に証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。その説明内容(音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、『全世界で安定した利益体質を拡大するため、世界にない商品企画力を発揮し、市場設置台数を増加する』を中期的な経営目標に掲げて運営しております。

当第2四半期連結累計期間においては、インクジェット事業では前期に投入した新製品の販売が引き続き順調に推移し売上は伸長しましたが、孔版事業では売上の減少傾向が続きました。売上高は為替の円安影響もあり増収となりました。インクジェット事業、孔版事業ともに売上総利益率の低い製品の売上構成比が上昇し、売上総利益は減少しました。新製品投入に伴う研究開発費等が減少する一方で為替の円安影響もあり販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は前年を下回りました。売上高は401億2千8百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は13億8千7百万円（同14.7%減）、経常利益は15億8千5百万円（同7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億2千1百万円（同8.6%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1米ドル111.06円（前年同期比5.77円の円安）、1ユーロ126.29円（同8.14円の円安）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

①印刷機器事業

当社グループは、印刷機器事業として、高速カラープリンター「オルフィス」を主としたインクジェット事業とデジタル印刷機「リソグラフ」を主とした孔版事業を行っております。

印刷機器事業の売上高は395億2千3百万円（前年同期比4.0%増）となりました。営業利益は11億9千8百万円（同22.0%減）となりました。

日本

インクジェット事業では、販売が引き続き堅調に推移し売上が前年を上回りました。孔版事業では、売上が前年を下回りました。売上高は228億3千9百万円（同0.6%増）となりました。販売費用の減少により営業利益は14億6千5百万円（同20.0%増）となりました。

米州

インクジェット事業では、前期に投入した新製品の効果もあり売上が前年を上回りました。孔版事業では、売上が前年を下回りました。為替の円安影響がありましたが売上高は27億1千6百万円（同0.2%減）となりました。営業損失は3億9百万円（前年同期は1億8千3百万円の営業損失）となりました。

欧州

インクジェット事業では、前期に投入した新製品の販売が引き続き順調に推移し売上が前年を上回りました。孔版事業では、売上が前年を下回りました。為替の円安影響もあり売上高は69億5千4百万円（前年同期比10.8%増）となりました。売上総利益率の低い製品の売上構成比が上昇したこともあり営業損失は7千2百万円（前年同期は1億4千6百万円の営業利益）となりました。

アジア

インクジェット事業では、前期に投入した新製品の販売が引き続き好調に推移し売上が前年を上回りました。孔版事業では、売上が前年を下回りました。為替の円安影響もあり売上高は70億1千3百万円（前年同期比11.1%増）となりました。売上総利益率の低い製品の売上構成比が上昇したことで販売費用の増加により営業利益は1億1千4百万円（同67.3%減）となりました。

②不動産その他事業

当社グループは、不動産その他事業として不動産事業のほかプリントクリエイト事業を行っております。

不動産その他事業の売上高は6億4百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は1億8千8百万円（同110.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

総資産は12億7千9百万円増加し892億6千8百万円となりました。また、純資産は14億5千6百万円減少し625億5千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は2.7ポイント減少し70.1%となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金が15億7千6百万円、商品及び製品が7億7百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が18億5千2百万円減少しました。また負債の部では、支払手形及び買掛金が11億6千5百万円、未払法人税等が5億7千5百万円、流動負債のその他が7億7千4百万円それぞれ増加しました。

（キャッシュ・フローの状況）

営業活動の結果獲得した資金は54億7千5百万円（前年同期比115.5%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益15億1千6百万円、減価償却費15億7百万円、売上債権の減少額22億4千9百万円、仕入債務の増加額8億4千万円、未払金の増加額2億3百万円、たな卸資産の増加額6億1千万円、法人税等の支払額1億5千9百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は1億2千4百万円（同91.3%減）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入20億3千2百万円、定期預金の預入による支出12億6千5百万円、有形固定資産の取得による支出7億5千万円、無形固定資産の取得による支出2億5千9百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は31億2千8百万円（同20.1%減）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出8億9千9百万円、配当金の支払額22億4千2百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月9日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想から変更はありません。

（4）研究開発活動に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は26億7千4百万円です。研究開発活動は主に印刷機器事業によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,058	16,634
受取手形及び売掛金	15,393	13,541
有価証券	900	900
商品及び製品	8,987	9,694
仕掛品	853	1,008
原材料及び貯蔵品	2,205	2,363
繰延税金資産	2,011	2,244
その他	1,982	2,013
貸倒引当金	△257	△252
流動資産合計	47,134	48,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,904	20,949
減価償却累計額	△12,718	△12,975
建物及び構築物（純額）	8,185	7,973
機械装置及び運搬具	6,388	6,722
減価償却累計額	△5,013	△5,153
機械装置及び運搬具（純額）	1,375	1,568
工具、器具及び備品	16,883	17,071
減価償却累計額	△15,581	△15,881
工具、器具及び備品（純額）	1,302	1,190
土地	17,623	17,631
リース資産	377	450
減価償却累計額	△189	△203
リース資産（純額）	187	247
建設仮勘定	23	51
その他	10,815	11,227
減価償却累計額	△6,486	△6,505
その他（純額）	4,328	4,721
有形固定資産合計	33,026	33,386
無形固定資産		
ソフトウェア	1,261	1,204
その他	655	520
無形固定資産合計	1,916	1,725
投資その他の資産		
投資有価証券	1,981	1,885
長期貸付金	28	22
繰延税金資産	809	1,046
その他	3,134	3,095
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	5,911	6,007
固定資産合計	40,854	41,119
資産合計	87,988	89,268

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,568	12,734
短期借入金	1,322	1,417
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	311	886
賞与引当金	1,707	1,773
役員賞与引当金	50	37
製品保証引当金	36	46
その他	6,196	6,970
流動負債合計	21,194	23,868
固定負債		
長期借入金	17	16
退職給付に係る負債	2,359	2,338
その他	405	487
固定負債合計	2,781	2,843
負債合計	23,975	26,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	50,678	49,657
自己株式	△14,375	△15,275
株主資本合計	65,198	63,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	483	399
為替換算調整勘定	△549	△80
退職給付に係る調整累計額	△1,118	△1,038
その他の包括利益累計額合計	△1,184	△719
純資産合計	64,013	62,556
負債純資産合計	87,988	89,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	38,590	40,128
売上原価	16,145	17,820
売上総利益	22,445	22,307
販売費及び一般管理費	20,819	20,920
営業利益	1,625	1,387
営業外収益		
受取利息	50	53
受取配当金	25	26
為替差益	—	21
その他	109	171
営業外収益合計	185	273
営業外費用		
支払利息	30	31
為替差損	21	—
固定資産除却損	17	25
その他	19	18
営業外費用合計	89	75
経常利益	1,721	1,585
特別利益		
投資有価証券売却益	—	30
特別利益合計	—	30
特別損失		
減損損失	—	99
特別損失合計	—	99
税金等調整前四半期純利益	1,721	1,516
法人税等	595	295
四半期純利益	1,125	1,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,125	1,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,125	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△84
為替換算調整勘定	△1,625	469
退職給付に係る調整額	103	79
その他の包括利益合計	△1,515	465
四半期包括利益	△389	1,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△389	1,686
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,721	1,516
減価償却費	2,005	1,507
のれん償却額	5	—
減損損失	—	99
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△345	82
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32	△14
受取利息及び受取配当金	△76	△80
支払利息	30	31
為替差損益(△は益)	233	△28
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△30
売上債権の増減額(△は増加)	2,061	2,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,226	△610
仕入債務の増減額(△は減少)	594	840
未払金の増減額(△は減少)	△501	203
その他	△1,041	△181
小計	3,430	5,586
利息及び配当金の受取額	75	79
利息の支払額	△30	△31
法人税等の支払額	△934	△159
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,541	5,475
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,948	△1,265
定期預金の払戻による収入	3,142	2,032
有形固定資産の取得による支出	△1,498	△750
有形固定資産の売却による収入	38	31
無形固定資産の取得による支出	△234	△259
貸付金の回収による収入	0	0
その他	76	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,422	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△39	59
長期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△1,499	△899
配当金の支払額	△2,332	△2,242
その他	△42	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,916	△3,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△711	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,508	2,359
現金及び現金同等物の期首残高	19,388	14,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,879	17,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が899百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が15,275百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	印刷機器事業					不動産 その他 事業	合計
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高	22,700	2,721	6,278	6,311	38,011	578	38,590
セグメント利益又は損失(△)	1,221	△183	146	350	1,535	89	1,625

(注) 1. 不動産その他事業には、不動産事業及びプリントクリエイティブ事業が含まれております。

2. 印刷機器事業の各セグメントに属する主な国又は地域

(1) 米州 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… ドイツ、イギリス、フランス

(3) アジア …… 中国、タイ、韓国、インド

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	印刷機器事業					不動産 その他 事業	合計
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高	22,839	2,716	6,954	7,013	39,523	604	40,128
セグメント利益又は損失(△)	1,465	△309	△72	114	1,198	188	1,387

(注) 1. 不動産その他事業には、不動産事業及びプリントクリエイティブ事業が含まれております。

2. 印刷機器事業の各セグメントに属する主な国又は地域

(1) 米州 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… ドイツ、イギリス、フランス

(3) アジア …… 中国、タイ、韓国、インド

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

①自己株式の取得

当社は、平成29年11月2日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

自己株式の取得に関する事項は、次のとおりです。

1. 理由
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主への利益還元のため
2. 取得対象株式の種類
当社普通株式
3. 取得し得る株式の総数
160,000株
4. 取得価額の総額
300,000,000円
5. 取得期間
平成29年11月16日から平成29年12月15日まで
6. 取得方法
東京証券取引所における市場買付